

## トピックス

長谷川会長が世界知識フォーラム(World Knowledge Forum)にパネリストとして招聘されました。この訪韓に合わせて、韓国日系製薬企業協議会(KJPA)、韓国政府(保健福祉部、KFDA)、韓国製薬協(KPMA)、日本大使館と会合をもちました。

長谷川会長が世界知識フォーラム(World Knowledge Forum)にパネリストとして招聘されました。この訪韓に合わせて、2010年10月12日、13日の2日間にかけて、韓国日系製薬企業協議会(KJPA)、韓国政府(保健福祉部、KFDA)、韓国製薬協(KPMA)、日本大使館と会合をもち、日本製薬協のアジア各国製薬団体との連携構想について紹介するとともに、韓国の医療制度・医薬品産業の現状ならびに発展に関する意見交換を行いました。

なお、長谷川会長の訪韓には平手武田薬品工業コーポレートオフィサー、益田国際委員会アジア部会長、宮澤日本製薬協国際部長が同行しました。

### 1. 韓国日系製薬企業協議会(KJPA)との会合

日時：2010年10月12日(火) 15：30～18：00  
場所：韓国ソウル市 シェラトンウォーカーヒルホテル ダグラス会議室

KJPAならびに日本大使館から18名が参加し、情報交換会を行いました。

KJPAより藤井会長(アステラス韓国)、権薬価制度研究委員会リーダー(第一麒麟)、李CP研究委員会リーダー(韓国大塚)から、それぞれKJPA活動内容、韓国薬価制度の現状、韓国公競規約の現状についての説明があり、韓国進出日系企業が直面する問題点について活発な意見交換が行われました。



韓国日系製薬企業協議会との会合

### 2. 韓国・保健福祉部(MOH)との会合

日時：2010年10月13日(水) 10：00～10：50  
場所：保健福祉部保健医療政策室長執務室  
面談者：

Mr. Sohn, Gunn-Yik(孫建翼)  
保健医療政策室 室長

Jeong Kee Hong, Ph.D.(洪程基)  
企画調整室通商協力担当官

Ms. Kim, Sang-Hee  
健康保険政策官保健薬剤科 科長

長谷川会長からアジア連携構想について紹介し、孫保健医療政策室室長(日本の次官補に相当)からは、「韓国製薬産業が発展するうえで自らパラダイム変換に乗り出すことが必要であり、そのためには、韓国の製薬団体が日本をはじめとする各国製薬団体との交流を強化することは有用である」と、この構想への賛意と日本製薬協が進めるアジア連携構想を歓迎するとの考えが示されました。さらに、「今後、韓国でバイオ産業育成を推進していくうえで、韓国の行政、製薬企業ともこれまでの取り組み姿勢に対する反省に立つことが重要である」と所感を述べました。

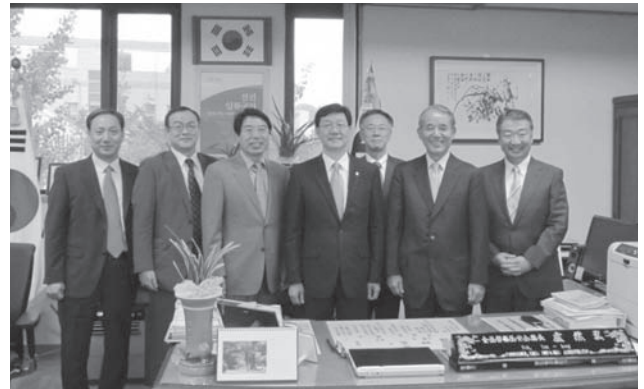
会談中、保健福祉部からは、日本の薬価制度、流通制度について熱心な質問があり、同部が日本の制度に深い関心を有していることがうかがえました。



韓国保健福祉部にて



韓国製薬協にて



韓国・食品医薬品安全庁にて

### 3. 韓国製薬協(KPMA)との会合

日時：2010年10月13日(水)11：30～12：30

場所：KPMA会長室

面談者：

Kyeong-Ho Lee, Ph.D.(李京浩) KPMA会長  
Mr. Kyung H. Lee (李炅河)  
Chairman of Int'l Affairs Committee, KPMA  
Vice Chairman/CEO, Choongwae Pharma  
Corporation  
Mr. Won Ill, Gal  
Senior Managing Director, KPMA  
Ms. Heeha Kim  
Team Leader, International Affairs

KPMAとは、両国の医療行政ならびに製薬産業の現状に関して活発な意見交換を行いました。

また、長谷川会長からKPMAに対して、2011年4月15日に東京で開催する第1回アジア連携会議への参加要請が行われ、李会長からはこれを歓迎し、参加する旨の意向が示されました。

### 4. 韓国・食品医薬品安全庁(KFDA)との会合

日時：2010年10月13日(水)15：00～16：00

場所：KFDA庁長室

面談者：

Noh, Yun-hong Ph.D.(蘆然弘)  
KFDA 庁長  
Jang Byung-Won, Ph.D.(張炳元)  
医薬品安全局 局長  
Mr. Hong, Soon Wook  
医薬品安全局医薬品安全政策科 科長

長谷川会長から、国際共同治験(MRCT)推進、APEC-AHC(アジア・ハーモナイゼーションセンター)を通じた国際貢献、医薬品医療機器総合機構(PMDA)との人的交流促進等に対するKFDAの取り組みに対し、賛辞と期待が述べられ、一方、蘆庁長からは、2010年9月にソウルで成功裏に開催された日中韓3カ国局長会合・ワーキンググループ会合、

MRCTシンポジウムに対するPMDAならびに日本製薬協の協力に対して謝辞が述べられました。

また、KFDAの審査体制等について質疑応答形式での紹介がされました。

### 5. 日本大使館との会合

日時：2010年10月13日(水)17：30～18：00

場所：駐大韓民国日本国大使館

面談者：

武藤特命全権大使、宇山公使・経済部 部長、  
荻野二等書記官(厚生労働省)

武藤特命全権大使から、「韓国は果敢な攻めの姿勢が目立っており、日本と比較してGDPでは1/4程度であるが、すでに同程度の力量である」との認識が示されました。

また、アジア連携会議構想への賛意ならびに日系製薬企業・製薬業界活動に対して、大使館としても積極的に協力していくとの考えが示されました。

### 6. 最後に

日本製薬協会長が韓国政府、日本大使館、製薬企業団体(韓国製薬協、韓国日系製薬企業協議会)を一度に訪問したのは、今回が初めてであり、日本製薬協の歴史上非常に意義深いものであったと考えています。また、今回の訪韓において、すべての訪問先で日本製薬協のアジア連携構想が歓迎され、日本との関係強化、日本の医療保険制度・薬価制度に対して深い関心が示されました。

日本製薬協では、これまで各委員会レベルで続けてきたアジア各国との連携を、さらに発展させたアジア連携構想を今まさに推進しようとしています。今回の訪韓は、その方向性が官・民の枠を超えて幅広い支持を受けるものであることを再認識できたという意味でも非常に意義深いものであったと考えています。

最後に、今回の訪韓にあたってご尽力いただいた韓国製薬協、日本大使館、韓国日系製薬企業協議会の皆さまに厚く御礼申し上げます。

(国際委員会アジア部会長 益田 公司)